

2013 年度 喜安記念業績賞紹介

選奨にあたって

中田登志之

喜安記念業績賞選定委員会委員長／日本電気（株）

喜安記念業績賞は情報技術に関する新しい発明、新しい機器や方式の開発・改良、あるいは事業化プロジェクトの推進において、顕著な業績をあげ、産業分野への貢献が明確になったものを対象とする賞です。

今回は、選奨にあたって6件の応募がありました。選考基準として、優れた技術レベルであることとともに、社会で活用されていることを重視して選考させていただきました。一次選考の投票による選考ならびに2次選考における選定委員会審議の結果、以下に述べる3件の優れた案件を選奨することができました。

公立はこだて未来大学、東京農業大学、稚内水産試験場の技術開発チームは、「IT 漁業の推進および海洋環境と水産資源の可視化による水産業への貢献」で選奨されました。本チームは水産業と発展の著しい情報処理技術を融合した新たな研究分野である「マリン IT」分野を開拓し、研究者（大学、水産試験場）と漁業者、漁業協同組合が一体となり、2004年度から全国に先駆けて IT の導入による持続可能な水産業「IT 漁業」の実践に取り組んでいます。その結果、勘と経験に基づく従来型の競争的漁業から、情報を共有し活用する協調的漁業への移行が図られ、水産業におけるリソース・シェアリングによる効率的な漁業活動と水産資源量の回復へ大きく貢献しました。情報処理技術を漁業という異分野で活用されたことが高く評価されました。

富士通研究所、Fujitsu Laboratories of Europe、富士通セミコンダクターの技術開発チームは、「サイドチャンネル攻撃対策技術の開発と実用化」で選奨されました。サイドチャネル攻撃は、チップを分

解せず消費電力から内部の暗号鍵を解読するので大きな脅威でありました。本チームが開発した耐性基準は、チップ製造前の理論的な耐性評価指標を確立することで、小型かつ安全な対策回路を実現することを可能にしました。この対策回路を搭載したチップはセキュリティの国際標準 ISO/IEC 15408 において民生品最高レベルである EAL4+ 取得に成功しました。このように、本成果は、安価で安全なチップの製造を可能にし、組込みデバイス分野の発展に貢献しています。

KDDI 研究所の技術開発チームは、「スマートフォン向けアプリケーションにおけるプライバシー保護の取り組み」で選奨されました。受賞者らの成果は、スマートフォンとアプリの安心安全な利活用を支える基盤技術として、アプリ Market におけるプライバシー審査の実用化、アプリ向けプライバシーポリシーの作成支援ツールの公開、アプリ内広告向けプライバシー保護型 ID の実用化、総務省指針「スマートフォン プライバシー イニシアティブ」への採用など、スマートフォン向けアプリ市場全体のプライバシー保護の底上げに多大な貢献を果たしました。さらに、セキュリティの公共性から、我が国および国際社会全体への貢献も著しいと認められます。

本賞は冒頭にも申しましたように、各技術レベルが優れているとともに、産業分野への貢献が評価される、IT 分野の技術開発に従事する技術者にとって栄えある賞です。受賞者の方々には心から受賞をお祝い申し上げます。また、来年度以後も皆様から積極的な応募をいただけますようお願い申し上げます。

(2014年6月5日)